

## 第2回徳島市新ホール整備検討会議 議事録(要旨)

日 時 平成30年10月22日(月) 午後6時～午後8時  
場 所 ホテル千秋閣 7階 鳳の間  
出席者 19名(委員8名、事務局ほか)  
傍聴者 4名

### 1 開会

### 2 第1回検討会議意見概要について

#### 事務局

資料1 ページ 資料1 第1回徳島市新ホール整備検討会議意見概要 報告

### 3 議事

#### (1) 他都市の状況について

#### 事務局

資料3 ページ～ 資料2 他都市の状況について 説明

#### A委員

1 1 ページの維持管理にかかる収支に関するデータは何年度のものが。

#### 事務局

文化センターについては最終年度である平成26年度、他の施設は平成27年度のものを掲載している。全国公立文化施設協会に登録している、全国の1000席以上のホールを対象としている。

#### 会長

大きなホールも含まれていると、それが平均を上げている可能性がある。

#### (2) 文化センター敷地での整備可能性について 1

#### 事務局

資料1 4 ページ 資料3-① これまでの検討内容をすべて反映した計画案 説明

資料1 5 ページ～ 資料3-② 計画案作成にあたって 説明

資料1 9 ページ～ 資料3-③ 計画案 説明

文化センター敷地での配置プラン案の詳細図面については、当該敷地において諸室を配置するために必要な床面積等を検討するための試案であり、検討過程の図面であることから、最終的に確定した図面ではないので、スクリーンで表示させていただく。

#### 会長

事務局から、詳細図についての取扱いについて説明があったがどうか。

#### 各委員

意見なし

#### 会長

現在の案でのリハーサル室と活動室の違いは、リハーサル室は天上高さ8 m程度、活動室は4 m程度という天井の高さという事で良いか。

#### 事務局

リハーサル室は、天井の高さが8 m程度、活動室は、天井の高さが4 m程度を考えている。

天井の高さの違いによって名称に差をつけている。8 mあれば本番を想定したセットを組んだり、高さのある演目の練習ができると考えている。

会議室は、通常の机と椅子が並んでいるイメージであり、場合によっては控室や楽屋になることも考えられる。

#### B委員

リハーサル室には高さが欲しい。4 mではだめだろう。

1200席にした場合、1階は800席程度、2階は400席程度とのことだったが、バルコニー席はどのくらいあるか。また1階の客席に被る2階席はどのくらいあるか。

#### 事務局

2階バルコニー席の40席程度を含めて400席程度。1階後方の上部に来るのは310席程度を想定している。2層のバルコニーは、段差を設けて2列設置している。

#### B委員

2階席が1階席に被る場所は、音が良くないので観客が行きたがらない。できるだけ1階席にかぶらないようにしてほしい。

#### 事務局

1500席のホール案では1200席の案より、1階席に2階席が被る部分の出が大きく懸念される部分であり、音響の仕上げ等を考えた場合に、どこまでカバーできるかは今後の検討課題になる。

## 会長

現段階は、市が想定した設計プランを示しているので、実際の設計作業の中では色々な案が出てくる可能性もある。客席を3層にする案も考えられるか。

## 事務局

北側の高さが日影規制にかかり、建物高さを抑える必要がある。3階客席を設ける案も検討したが、日影規制の問題で3層客席の設置をクリアするのは難しく、2層の案としている。

## 会長

1200席の場合、高さも緩くなるのではないか。

## A委員

そもそも、1200席なのか1500席なのかで議論の内容が変わる。  
先ず1200席か1500席かを決めたい。

## 会長

1500席にする場合には、一番もともとのプランが原則になっているが、そのどの機能を削るかになる。

## A委員

前回の会議では、比較的小さめのホールでよいのではという話もあった。  
現実的に1500席が埋まる興行が年間どのくらいあるのか。

## C委員

貸館だけにすれば埋まることはない。「創造」「交流」「鑑賞」を基本方針としているので、それを踏まえて1500席が埋まるような自主事業なり、外から魅力的なものを呼ぶ企画をしていくかによる。

これまでの文化センターがそうだったから、それでいいということはないと思っている。

## A委員

理想通りに行かないという現実がここにあるので、何が妥協できるかということである。

## C委員

私は「どこまでいけるか」という問題があると思う。最初に金額と期間が決まっていて「それに合わせてください」ということならば、この案のどれかを取らざるを得ないだろう。

だが、本来最初から議論されてきたことは1500席であり、そして創造や交流ができるものということだった。それを可能にするためには、どういうホールにするか。そうすると

「この場所でよいのか」という問題もでてくる。

#### 会長

文化センター敷地でも、奥行きがないのは厳しい。そうすると通路などにしわ寄せがきて平面配置が難しくなり、地下を掘らざるをえない。その中で1200席くらいが使いやすいという話もあり、1200席ならば、こういうプランになるというのをお示しいただいた。

#### B委員

理想は1800席で、1800席を超えるといろんな全国大会が誘致できるだろう。1500席は中途半端、それなら思い切って設備が充実するなら1200席でいいと考える。

1500席は、よっぽど素晴らしいオーケストラが来て、入場料1万円を超えるような設定で、みんなで頑張って協力してチケットを売れば、入るかもしれない。あとは音楽と関係ない大きなイベントならば入るだろう。

#### A委員

リハーサル室はなくても大丈夫なのか。

#### B委員

必要である。トイレの無い家を建てるようなもの。

#### C委員

ここの敷地では奥行きが無い。この案のリハーサル室とするなら、他の機能があることが望ましい。奥もしくは前の部分に照明があるとか。

#### D委員

できたらリハーサル室は別フロアでも、舞台と同じ広さが欲しい。次の出演者が待つ場所としても効果的。また大ホールでイベントをしても、リハーサル室だけを借りるということができる。

#### A委員

小ホールは絶対必要なのか。

#### C委員

計画案の3の小ホールなら、照明を設置できないので音楽関係くらいの小ホールか、という話だった。それならば、市内の他の施設と変わらない。小ホールはホールとしてある程度の天井高がないと小ホールとしての意味がない。この案では本当のホールと言えない。音楽関係であまり吊り物がないものをやる場所として割り切らざるをえない。

#### **E 委員**

この案の小ホールなら、シビックセンターと変わらない。舞台も狭く、結局は使いづらいものになる。

#### **A 委員**

小ホールを配置するより、リハーサル室が広い方が有効活用できるか。

#### **D 委員**

パーティションで区切り、活動室として色々な団体が規模を変えながら使える事例もある。

#### **会長**

小ホールにするよりは、装置がいらぬような小さいコンサート程度はできる、リハーサル室を多目的な空間にして、色々なものに使えるように計画することも考えられる。

#### **E 委員**

天井が低いと音響が良くない。リハーサル室として天井の高いものを用意しておいて、色々なのに使えるように考えておいたほうがいい。

#### **C 委員**

演目によって、リハーサル室として使えるか使えないかは高さの問題がある。バレエのようなものは音も入れるが、そんなに高さはいらぬ。ただし音楽の場合には高さが必要。演劇や舞踊ではそこまでの高さはいらぬ。ただし、音を気にする人は気にする。

それは大ホールにしても、音響の関係から言うと、音楽は2階席ができるだけ少ないほうがよく、演劇や舞踊関係はより舞台に近いほうが良いという考えもある。そうするとバルコニー席を増やし、馬蹄形のようにされる劇場もある。

多目的ホールだからいろいろな要求がある。あれもこれもは難しい。

#### **B 委員**

やはりリハーサル室はステージと同じ広さが欲しい。舞台と同じ広さであれば同じ動きができる。特にバレエなどは同じ広さがあるといい。

#### **C 委員**

バレエはリハーサルで1～2日リハーサルの時間をとる。そうすると大ホールで練習をする場合はホールを2～3日借りなければならない。大ホールでのリハーサルの利用は料金が安くはなるが、それでもリハーサル室でやるほうが安い。

#### **A 委員**

会議室は必要なのか。

### C委員

必要である。事業を実施したりするときに、市民やボランティアなどが参加して自主事業をどうやって行くかが大事で、そのためには多くのボランティアの人も含めた会議をして企画を決めていく。

これからはスタッフの問題であり、それは専門のプロデューサーや芸術監督などプロがいる。そういう人が4～5年くらい新しいホールにいて後継者を育てている。

やはり、若い人たちの将来を考えると少なくとも1500席は必要だと思う。それが全県的な動員にもなるし、県外からの動員にもなる。いかんせん徳島は、県の建物で1500以上のホールがないので、市がそれを担っている。そうなると市がどれだけ決意していくか。

ホールができる前からそう言ったプロの人を呼ぶことが大事と思う。そのためにどういう部屋が必要なのかということ。

### A委員

今話をきくと、11ページの文化センターは、職員が全員で7人。舞台技術者は0人。

### C委員

舞台技術は委託だった。音響にしても照明にしても、やはり業者への委託がある。チーフの技術者が実際に館にいるのが一番理想的である。

### B委員

文化センターはただの貸館だった。

### C委員

文化センターの建設当時は、ホールとしてだけでなく集会所の役割も担っていた。そういう中でホールとして頑張ってはきた。

### F委員

4案とも、非常にタイトな敷地でプランを作るのが大変だったと思う。この場所で必要な機能が欲しいとなると、1500席は無理だと思ってお話を聞いていた。ここの場所でするだけ質の高いものを前提とすると、1500席ができないのであれば、必要な機能は「高さのあるリハーサル室」「小ホールは我慢してもらおう」ということで行かないと仕方ない。

### 会長

リハーサル室は重要。ミーティングできる活動空間はできるだけとってほしい。この2つということだと思う。

### E委員

文化センターの時には、舞台設備の関係で「この照明はこのホールで仕込むことができない

い」ということが出てきていた。そうならないホールにせねばならない。

## 会長

運営の話で、技術的な人を入れるということは、今までの運営計画でも書かれている。そこを否定する話ではないと理解している。運営計画は変わっていない。施設計画が変更になるにしたがって見直す部分も出てくるが、大きな変更はないと考えてよいか。

## 事務局

今後の話になるが、管理運営の方向性は出すべきと考えている。もともとの計画の鑑賞、交流、創造は変えない。また演じる人や見る人、関わる人の育成も必要だと考える。それをやるためのボランティアや運営者側、演じる側が使う部屋の規模や数については考えなければならぬ。

## G委員

本当は1500席欲しい。鳴門市民会館が約1500席で、県都である徳島市が約1200席で本当に良いかと思っている。場所が厳しくなってきたのであれば、市民県民も含めて県都にふさわしい質の良いものをつくってほしい。前回も「徳島らしいものを」といったが、いいものを造るためにはある程度コストが必要なもので、県都に相応しいものを造ってほしい。

## C委員

建物そのものが豪華でなくてもいい。それよりも中身の問題。

いずれ40年、50年したらホールは壊さなくてはならない。徳島にゆかりのある文化芸術方面での著名な人に、人材を育成してもらえよう協力をお願いしていくべきではないか。そういったこともできるだけ早く考えていかなければならない。

たとえ1200席になっても閑古鳥が鳴いてはしようもない。どういう企画をしてどういう後継者を育成していくかが必要だと思う。

## 会長

ひとつ確認しておきたい。リハーサル室が同一フロアに計画されており、そのせいで奥行きがなくなっている。地下でもいいから奥行きがあったほうがいいのか、面積が小さくても同一フロアか、どちらが良いか。

## E委員

同一フロアにある方が使いやすい。楽器などを持って階段を上がるのも大変である。

## 会長

設計案についてだが、同一フロアにリハーサル室を置くにはあの大きさが精一杯か。面積を広げられないか。

**事務局**

南側の出演者関係の駐車場の確保も視野にいれているのと、あと地下の配管等があるので、そういったものをよける意味で、計画案の大きさになっている。

**会長**

リハーサル室を中2階に持っていけないか。

**事務局**

避難経路があり、上階に置くと避難階段を設ける必要があり、条例で定められている。階段幅を小さくすることを考えると1Fになる。

**A委員**

駐車場を地下に持っていくのはどうか。

**会長**

こういった検討をしてほしい、という要望があれば伝えてください。何度も言っているが本日見ていただいた図面は最終案ではなく、あくまでも要求水準をつくるためのスタディである。実際は設計・施工する事業者が工夫をして、色々考えた案をコンペの形で選ぶこととなる。

**(3) その他**

なし

**会長**

本日の議題は、すべて終了したので事務局にお返しする。

**4 閉会**

**事務局**

以上で「第2回徳島市新ホール整備検討会議」を終了する。

以上